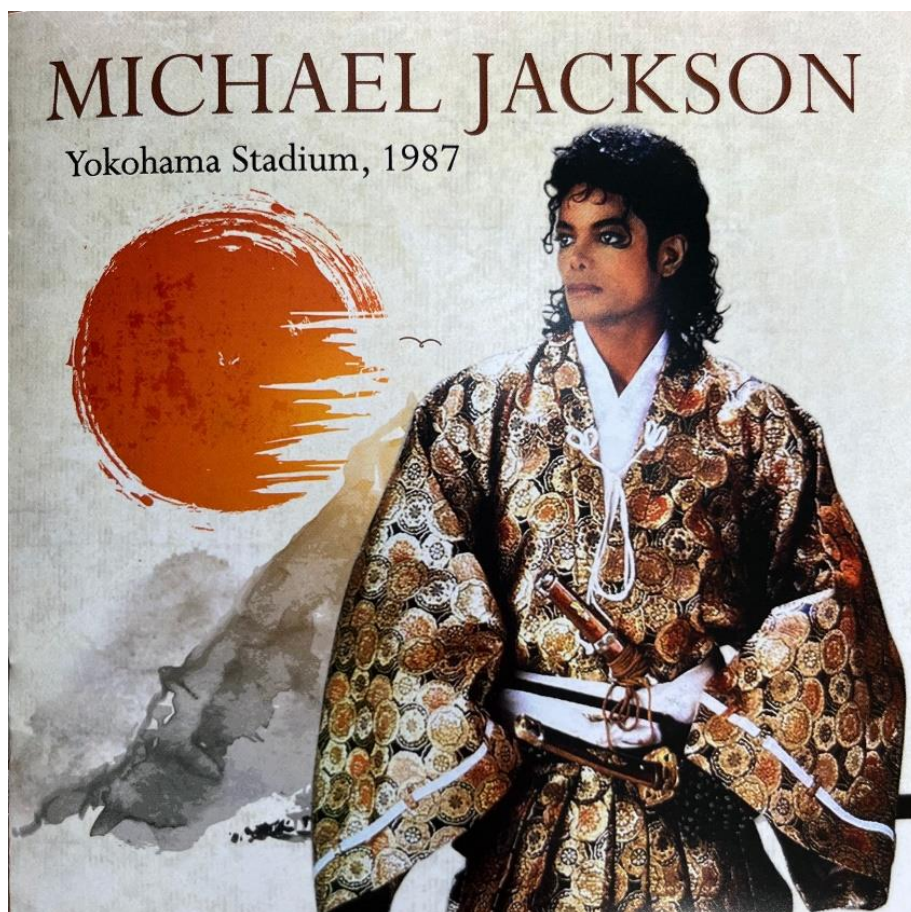


僕の好きな
マイケル・ジャクソンについて
⑥

～マイケル・ジャクソンと日本～



目次

1. 前書き
2. 調べようとした理由
3. 去年のテープは一体何だったのか
4. 来日時にマイケルが行った場所
 - 1987年 バッド・ワールドツアー 1st レグ
 - 1988年 バッド・ワールドツアー 2nd レグ
 - 1992年 デンジャラス・ワールド・ツアーLeg2
 - 1993年 デンジャラス・ワールド・ツアーLeg3
 - 1996年 ヒストリー・ワールド・ツアー
 - 1998年 テーマパーク事業ほかでの来日
 - 2006年 MTV JAPAN VMAJ 出席のため来日
 - 2007年 スタジオコーストイベントなどのため
5. マイケルとゆかりのある方にお話を伺いました
 - 鶴見六百さん（ゲーム「ムーンウォーカー」の制作スタッフ）
 - 星美ホーム 平澤和彦さん（マイケルが訪れた児童養護施設の職員）
6. メールでご返信をいただいたみなさま
7. マイケルが行った場所に僕も行ってきた
8. マイケルジャクソンが食べたものを食べてみた
9. マイケルジャクソンが食べたものを作ってみた
10. マイケル・ジャクソンについて調べている人たち
11. 6年間の研究から見えてきたマイケル・ジャクソンの人物像
12. 僕にとってのマイケル・ジャクソンとは
13. マイケルのかっこいい曲
14. これを見ればマイケルのかっこよさがわかる！マイケルの曲ベスト5！
15. 後書き
16. 参考文献
17. 自由研究ができるまで
18. 著者近影
19. 今までの自由研究
20. ＊リンク
21. 編集アシスタントより

1. 前書き

これは、6年にわたってマイケル・ジャクソンの魅力をクラスの全員に伝える本で、この本は6年目である。また、今回の本は、小学校生活最後の自由研究なので、これまでに出した全ての本も展示しているので、ぜひ、1～5年までの方も読んでほしい。さらに、今年はまだ小6なので、今までよりもページ数を増やしている。

<この6年間、自由研究をやって、気づいたこと>

(肝心の) クラスの友達は、あまり興味を持ってくれない！

なので、今年は路線変更し、大人も対象に作っていくつもりである。

2. 調べようとした理由

<実は！>

小学4年生のときから、「小6になったら、マイケルと日本の関係について調べよう」と考えていました。

そして・・・

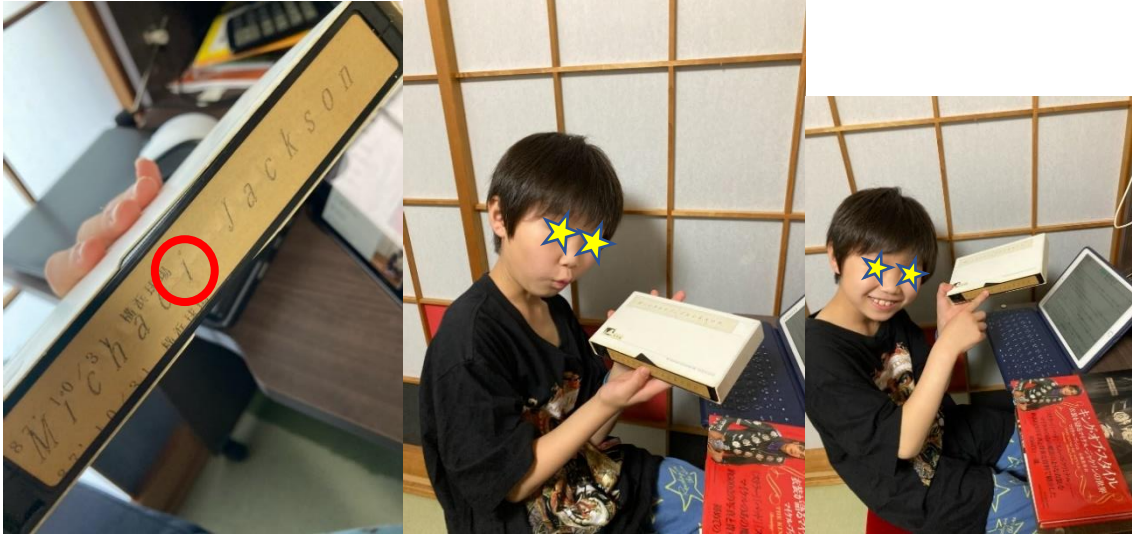
去年、家から偶然 Michae「i」 Jackson と書かれたビデオテープが

見つかった！

マイケル・ジャクソンが、ワールドツアーの時に日本にたくさん行っているのは去年調べたので、今回はより詳しく、マイケルが来日した時のエピソードを調べようと思います。

3. 去年のテープは一体何だったのか

去年、家から Michae「i（しではなく）」 Jackson と書かれたビデオテープが見つかったということは去年の自由研究にも書きましたが、その後、そのテープを見てみました。



<ビデオテープの内容>

マイケルが来日した時の、日テレの「独占特番！マイケル・ジャクソン—1440 時間の全記録」という番組の録画で、来日時のマイケルをひたすら追っかけるという内容でした。

4. 来日時にマイケルが行った場所

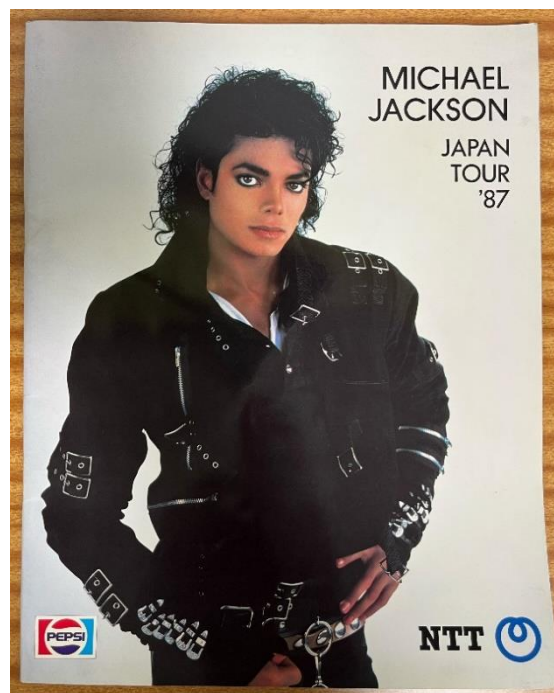
※分かっていないところもあります

<1987年>

バッド・ワールド・ツアー1st レグのために来日



左から順に、9月12日に行われた後楽園球場と、
10月3日に行われた横浜スタジアムのチケット※コピー



1987年の来日時のツアーパンフレット

[1987年9月9日]

マイケル・ジャクソン、成田空港に到着し、ザ・キャピトルホテル東急にチェックインする。このホテルには、この日から、日本を発つ10月19日まで、東京にいる間は泊まる。その日の夜、トッペンという青山にあるレンタルビデオ屋を訪問する。

[1987年9月10日]

ザ・キャピトルホテル東急の地下2階にて、MRM社と、SKホール社主催のパーティーに参加する。その後、後樂園ゆうえんちに入場する。

[1987年9月11日]

ホテルを出発し、品川ソニー本社「メディア・ワールド」を訪問する。日比谷のビデオ販売店に来店した後、原宿キデイランドに来店する。

[1987年9月12日]

後樂園球場で、日本初公演を行う。その後、ザ・キャピトルホテル東急の5階にてパーティーを行った。

[1987年9月13日] 後樂園球場で、二回目のライブを行う。

[1987年9月14日]

同じく後樂園球場で、三回目のライブを行う。このライブで、この年の東京公演は終了となる。

[1987年9月15日]

日本橋にある丸善に行き、東京ガイドブックや、絵本を見る。ソニープラザ、インターナショナルアーケードに訪問し、夜に、西武百貨店池袋店にて買い物をする。

[1987年9月16日]

CBS ソニー信濃町録音スタジオにて、スティービー・ワンダーのアルバムのためにレコーディングをする。このレコーディングは、午後4時20分から、午後7時30分まで行われた。

[1987年9月17日]

東京駅から、新幹線で大阪へ向けて出発。当時、飛行機で大阪に行くともささやかれていたが、好奇心が旺盛なマイケルは、今まで一度も乗ったことがないであろう新幹線（ひかり7号）に乗車し、新大阪駅へ行った。新大阪駅到着後、ニューオータニ大阪にチェックインする。

[1987年9月18日]

大阪市役所を表敬訪問し、その際に、当時の市長から「市の鍵」をもらう。ニューオータニ大阪にて、1987年9月10日と同じく、MRM社と、SKホール社主催の「マイケル・ペッツ」パーティーに参加する。

[1987年9月19日]

西宮球場にて、大阪初公演を行う。

[1987年9月20日]

西宮球場にて、大阪二回目のライブを行う。絶好調のマイケルは、ライブ中に客席へ下り、（歌いながら）ファンと握手をした。

[1987年9月21日]

西宮球場にて、大阪三回目のライブを行う。^{よしあき}「功明ちゃん事件」を英字新聞で知り、ライブで、「この公演は、功明ちゃんに捧げたい」とコメントした。のちに発売された「マン・イン・ザ・ミラー」日本版のパッケージには、英語で、「功明ちゃんにこの曲を捧げる」とメッセージが書かれていた。

[1987年9月22日]

新幹線（ひかり6号）で、東京に戻り、ザ・キャピトルホテル東急にチェックインをする。銀座にある、イエナ洋書店にて、絵本などを10冊購入した。

[1987年9月23日]

ザ・キャピトルホテル東急にて、「バッド」の国内売り上げ60万枚を記念して、ゴールドCDが授与された。夜、博品館Toyパークで、約5万円分のおもちゃを購入した。

[1987年9月24日]

午後、後樂園球場でのライブでの警備のお礼として、富坂警察所を表敬訪問する。その日の夕方、富田 勲邸を訪問する。茶碗蒸しや豆源の豆菓子などを食べた。

[1987年9月25日]

横浜スタジアムにて、ライブを行う。終演後には、ペプシコ社主催のパーティーが行われた。

[1987年9月26日] 横浜スタジアムにてライブを行う。

[1987年9月27日]

山王日枝神社の階段にて、マイケルのペットであるチンパンジーのバブルス君がムーンウォーク(?)を行う(チンパンジーは、よほど練習しないと後ろに歩くことはできないのだとか)。横浜スタジアムにて、ライブを行う。この時点で、ツアー動員は30万人以上となっていた。

[1987年9月28日]

日本テレビの特別番組のために、銀座4丁目交差点(銀座和光前)でスチール撮影を行う。

[1987年9月29日]

東京ディズニーランドの全アトラクション、全施設を200分貸切り、思う存分遊んだ。

[1987年9月30日]

千代田区立永田町小学校(今はもうない)を訪問し、子供たちと一緒に、「もみじ」などを歌った。夜、ホテルにて、歓迎パーティーが行われ、「^{りんほうじやくそん}麟鳳若尊」と書かれたびょうぶが贈られる。

[1987年10月1日]

渋谷にあるヤマハミュージック(楽器店)を訪問する。

その後、麻布十番のアオイスタジオで、「スムーズ・クリミナル」の試写会が行われる。

[1987年10月2日]

六本木アートセンター別館にて、4時間に渡って写真撮影を行う。

[1987年10月3日] 横浜スタジアムにてライブをする。

[1987年10月4日] 横浜スタジアムにてライブを行う。

[1987年10月7日]

新幹線(ひかり7号)で大阪に行き、ニューオータニ大阪にチェックインした。が、午後2時頃、発熱してしまった。

[1987年10月8日]

まだ熱が下がらず、警察病院で診察を受けたところ、「急性喉頭炎」と診断が下りたことで、予定していたよみうりランドは 17 日に延期となり、8、9 日に予定されていた大阪公演は、11、12 日に延期となった。

[1987 年 10 月 9 日]

マイケルの専属コックが解任され、代わりに、音羽亭で働いていた高谷シェフと、三條シェフが選ばれた。高谷シェフは、面接のときに、「マイケル・ジャクソンなんて知らないよ。水戸黄門なら知ってるけどね」と言ったそうです。その言葉がマイケルになぜか大ウケして、合格してしまい、高谷さんが、自分の奥さんに話したところ、「マイケル・ジャクソンの食事を作るだなんて何言ってるの？嘘でしょ？」と信じてもらえなかったそうです。（「マイケル・ジャクソンの思い出」参照）

[1987 年 10 月 11、12 日] 追加公演をする。

[1987 年 10 月 13 日] 大阪城を見学し、新幹線（ひかり 26 号）で東京へ戻る。

[1987 年 10 月 14 日]

CBS ソニー信濃町録音スタジオにて、「ザ・ウェイ・ユー・メイク・ミー・フィール」のサウンドチェックをする。

[1987 年 10 月 15 日]

横須賀市の日産自動車の工場見学。ブルーバードをプレゼントされる。その後、音羽亭へのお礼として、葉山ホテル音羽ノ森の「レストラン潮幸」でディナーをする。（[リンク：湘南経済新聞参照](#)）

[1987 年 10 月 16 日] 六本木 WAVE を訪問する。

[1987 年 10 月 17 日]

六本木のスタジオにて、「ザ・ウェイ・ユー・メイク・ミー・フィール」の PV 用の音入れをする。その後、よみうりランドを訪問する。

[1987 年 10 月 18 日]

マイケル来日記念メダルの打ち合わせで、貴金属店「ヤマザキ」に行く。

[1987 年 10 月 19 日]

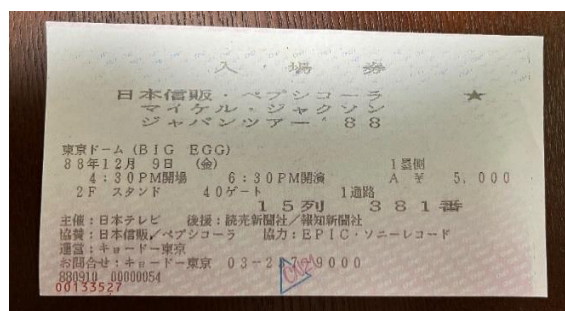
ホテルの黒板に、『MAKE LOVE WEAPON TO OVERCOME ANY EVIL』

(悪に打ち勝つために、愛をあなたの武器にきなさい) という落書きを残す。

マイケル、成田空港で日本を発ち、香港へ。

<1988年>

バッド・ワールド・ツアー2nd レグのために来日



12月9日(初日)のチケット※コピー



1988年の来日時のツアーパンフレット

[1988年12月9日～11日、17日～19日、24日～26日]

去年の後樂園球場は取り壊され、新しく作られた東京ドームにてライブをする。

12月13日、博品館 Toy Park を訪れて写真にサインをしているようだ(後述)

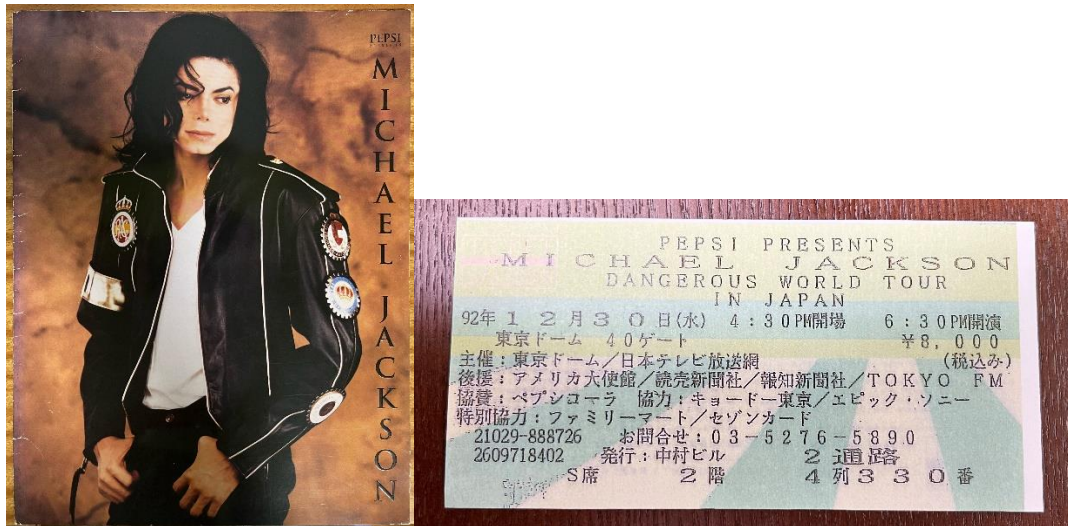
<エピソード>

『マイケル・ジャクソン来日秘話』より、一部要約

“マイケルが、今見えているお椀型のものが何かを質問し、私が「東京ドームだよ」と答え、マイケルが「あそこでコンサートやりたい！」と言ったことから、1988年のマイケル・ジャクソン JAPAN TOUR 88 につながったのである。”

<1992年>

デンジャラス・ワールド・ツアーLeg2



ツアーパンフレット

と

チケット※コピー

[1992年12月9日]

マイケル、成田空港に到着し、ザ・キャピトルホテル東急にチェックインする。その後、六本木 WAVE を訪問する。

[1992年12月10日] アメリカ大使館に足を運ぶ。

[1992年12月12日] 東京ドームで、日本公演を開始する。

[1992年12月14日] 東京ドームで2回目のライブを行う。

[1992年12月15日] セガ本社を訪問する。

[1992年12月17日] 東京ドームにて、3回目のライブを行う。

[1992年12月18日]

東京コミュニケーションアート専門学校（現在東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校）に来校する。生徒たちは、湯川れい子さんが翻訳した歌詞で、「ヒール・ザ・ワールド」を歌い、マイケルを迎えた。東京ディズニーランドに行った。87年とは違い、営業時間中に、一部アトラクションを貸し切った。

[1992年12月19日] 東京ドームで4回目のライブを行う。

[1992年12月21日] ソニービルを訪問する。

[1992年12月22日] 東京ドームで5回目のライブを行う。

[1992年12月24日] 東京ドームで6回目のライブを行う。

[1992年12月26日～28日] ハウステンボスに行く。

[1992年12月28日] 長崎から戻り、博品館トイパークを訪問する。

[1992年12月30日] 東京ドームで7回目のライブを行う。

[1992年12月31日]

東京ドームで8回目のライブを行い、マイケルは、日本で新年を迎えた。

<1993年>

デンジャラス・ワールド・ツアーLeg3

[1993年9月7日～8日] マイケル、ハウステンボスに行き、「クリスタル・ドリーム」の装置を気に入る。（その後、クリスタル・ドリームとまったく同じものを自宅ネヴァーランドに持って帰った）

[1993年9月8日]

ハウステンボスと同じく長崎にあるバイオパーク（動物公園）に行く。

<ちょっと休憩！豆知識コーナー！>

マイケルが飼っていた動物！

- ① チンパンジー ② ラマ ③ キリン ④ タランチュラ ⑤ ヘビ ⑦ イヌ
⑧ ゴールデンシェルティ

僕がわかるのはここまでです！

[1993年9月9日～12日] ハイアットリージェンシー福岡に泊まる。

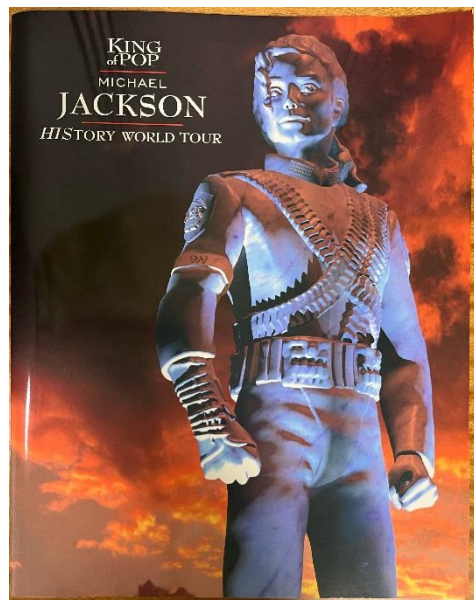
[1993年9月10日] 福岡ドームで1回目の福岡公演をする

[1993年9月11日] 福岡ドームで2回目の福岡公演をする

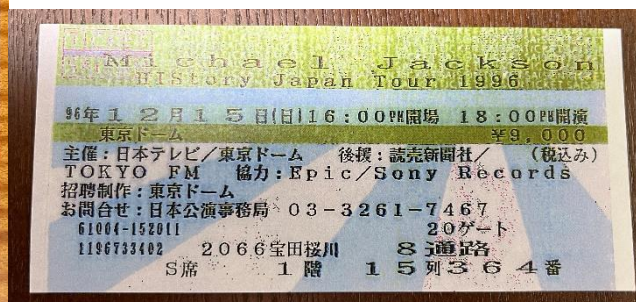
[1993年9月12日] マイケル、成田空港から、モスクワへと日本を発った

<1996年>

ヒストリー・ワールド・ツアー



ツアーパンフレット



と

チケット※コピー

[1996年12月11日]

成田空港に到着、ザ・キャピトルホテル東急にチェックインする。

[1996年12月12日]

タワーレコード渋谷店にて行われたイベントに参加し、半永久的に残る手形とサインを残す。



※2022年6月撮影

[1996年12月13日] 東京ドームにてヒストリーツアー日本公演最初のライブをする。

[1996年12月14日～17日] 東京ドームでライブを行う。

[1996年12月19日] 東京ジョイポリスに行き、壁にサインを残す。

[1996年12月20日] 東京ドームで6回目のライブを行う。

[1996年12月24日～27日]

福岡シーホークホテル（現在ヒルトンホテル）に泊まる。

[1996年12月26日、28日] 福岡ドームにてライブを行う。

事実上これが最後の日本でのライブだった…

[1996年12月29日] 成田空港から、日本を発った

<1998 年>

テーマパーク事業とその他の用事での来日

[1998 年 7 月 24 日]

マイケル、成田空港から日本到着。ザ・キャピトルホテル東急にチェックインし、7 月 24 日～28 日まで泊まった。

[1998 年 7 月 25 日]

鉄板焼 DANTE でパーティーを開く。マイケルは子供が心配だと言って 1 時間ほどで帰ってしまった。

[1998 年 7 月 28 日]

東京ジョイポリスを訪問。今回は、前回と違い、営業時間中にそのまま入った（後述）。

[1998 年 7 月 28 日] 成田空港より、日本を発った。

<2006 年>

MTV JAPAN VMAJ 出席のため来日

[2006 年 5 月 27 日]

マイケル、成田空港から日本に到着し、フォーシーズンズホテル（現在 ホテル椿山荘東京）にチェックインする。このホテルには、2006 年 5 月 27 日～6 月 2 日まで泊まっていた。

[2006 年 5 月 27 日]

国立代々木競技場第一体育館で、MTV ジャパン・ビデオ・ミュージック・アワードにて、MTV ジャパンのレジェンド・アワードを授与される。

[2006 年 5 月 28 日]

星美ホームを訪問する。琴や踊りを見て楽しみ、簡単に挨拶をした。

（「マイケル 星美ホーム MTV」で検索すると、その時の動画が出てくると思います！）

[2006年5月28日]

BLISTER（玩具屋で、現在は無くなっている）にて、おもちゃを買う。そして、マイケルが息子と『スターウォーズ』の、ライトセーバーのおもちゃで遊んでいるところを目撃される。

[2006年5月29日]

青山のベロアにて、VIPクラブパーティーに参加する。このパーティーには、現X JapanのYOSHIKI や、叶姉妹、成宮寛貴（「相棒」の甲斐 亨役）などの有名人が来た。

[2006年5月30日]

東京ディズニーランドに出かける。マイケルが入ったとたんに、「マイケル・ジャクソンだー！」という叫び声がし、ピーターパンのアトラクションが終わった後、外を見てみると、アトラクションに入る前にもすでに多い 2000 人以上だったのが、どんどんふくれあがり、何万人単位になってしまっていたようだ。

[2006年5月31日]

有楽町ビックカメラに買い物をしに子供たちを連れて行った。数時間貸し切りにしてくれるとのことで、マイケルはウキウキになりながら行った。ところが、どうして情報が漏れたのか、1時間後には、人の海ができていた。

[2006年5月31日]

SMAP×SMAP への出演のために、砧スタジオに行き、そこで、SMAP を驚かせることに成功した。（「スマスマ マイケル」で検索すると動画が出てきます。）

[2006年6月1日]

BLISTER でのお買い物ツアー第二弾。マイケルは、6月1日の1日だけ、やっと好きに過ごしてもよい時間を手に入れた。そこに選んだのは、BLISTER と、青山ブックセンターだった。

[2006年6月2日] マイケル、成田空港から日本を発った。

<2007年>

スタジオコーストイベントなどのため

[2007年3月4日]

マイケル、成田空港から日本到着。フォーシーズンズホテルにチェックインする。その後、2007年3月4日～10日までこのホテルに泊まった。

[2007年3月5日] 有楽町ビックカメラに行く。2回目の来店である。

[2007年3月8日～9日]

スタジオコーストで、「40万円チケット」のイベントがあった。このイベントは、40万円のチケットを買くと、マイケル・ジャクソンと直接話せるというものだった。このイベントに対してのマイケルファンの意見は、「40万円なんてマイケルが求めるわけがない！」という意見と、「今マイケルは財政難だから、まあ、しょうがないよな～」という意見の真っ二つに割れた。

[2007年3月10日]

神奈川県にある、米軍駐屯基地「キャンプ座間」をヘリコプターで訪問する。

[時期不明]

広東酒家らくらくの、「酢鶏」と、「肉無し炒飯」を出前で頼む（おそらくフォーシーズンズホテルに泊まっていたときに注文したと思われる）。

5. マイケルとゆかりのある方にお話を伺いました

(五十音順)

SEGA(当時) 鶴見 六百さん

—(質問)マイケルのアイデアで、ロボットに変身するという内容がゲームに盛り込まれたと、記事に掲載されていましたが、他にもマイケルのアイデアが盛り込まれたイベントやキャラクター、演出などがあれば教えてください

こんにちは。鶴見です。

あいかわらず、マイケル・ジャクソンが好きなんですね。とてもうれしく思います。

ミスター・ジャクソン(仕事の文章では必ずそう書かれていました)とは、セガ時代に2回ほどお会いしましたが、ステージでのパフォーマンスとは全く違う物静かな印象の人で、私もまわりの人間もみんな好感をいただいたものです。

さて質問の件ですが…

・私たちは最初、マイケルの攻撃で敵を「殺す」という表現をしていましたが、それをチェックしたミスター・ジャクソンから、「ラスボス以外の相手を殺すのはダメです。『浄化』するのでしょうか？」という返答が来ました。

それで、マイケルの攻撃は「オーラ」を飛ばすようにしたのです。オーラが当たった敵は、死ぬのではなく、悪い心を清められてしまう、ということですね。

・ミスター・ジャクソンのアイデアで「マシンガンで『M』の文字を描く」というものがありました。マイケルの「M」であり、ムーンウォーカーの「M」という意味ですね。

私が作っていたゲームセンター用の『ムーンウォーカー』では入れることができなかったんですが、メガドライブ版では、ちゃんと入っていると思います。

・ミスター・ジャクソンのアイデアで「ロボットに変身させて、それが巨大化する」「最後は、スペースシップになってどこかへ飛んでいく」というものがありました。

これは「ぜひ入れてほしい」という話だったので、がんばって入れました。ミスター・ジャクソンは、何かに変身することがとても好きだったんでしょうね。『スリラー』でも狼男に変身しますしね。

こんな感じでどうでしょう？ 参考になればいいんですが。

それでは自由研究がんばってください。

鶴見六百

星美ホーム 平澤 和彦さん

ZOOMにてお話を伺いました。

(平澤さん：以下、平) 初めまして、星美ホームの平澤です。

—初めまして（「BAD」のTシャツを着ている）

(平) おっ、Tシャツがかっこいいじゃないですか。

—ありがとうございます！

(平) (今までの) 自由研究見ました。すばらしい！

—ありがとうございます!!

(平) マイケルのイベントを星美ホームで何回かやってるんですけど、見学に来たことありますか？

—あります。(2019年5月に行われた「Jackson Aid Tokyo 2019」)



(平) そうでしたか、ご協力いただきありがとうございます。

<来訪時のエピソード>

—マイケルが、来日したときに、星美ホームに来たときのエピソードを知りたいです。

(平) 来訪の前に、プロモーターさんから、マイケル・ジャクソンがもしかしたら訪ねるかもと、連絡があったんです。行きたいということになったら受けてくれますか？という話だったので、どうぞ、というお答えをしたのが2週間ぐらい前です。当初は、当然来るはずもないだろうし、本物のマイケル・ジャクソンなのかどうか……。連絡を受けた人は、そのまま職員に伝えたんですけど、「そっくりさんがイベントをしたいんじゃないの？」みたいな感じで、それを聞いた職員が全然信用しなかったですね。

2日ぐらい前に「本当に来る」って話になって、準備も何もできていない状況で、2日の間に、舞台と、「マイケルさん、ウェルカム星美ホーム」みたいな感じの看板を作ったりで、本当に準備ができない状況で迎えました。

その日は日曜日だったと思うのですが、今もやっている「サンデージャポン」(TBS)で、デーブ・スペクターがマイケルの話題にちょっと触れたんです。「北区の児童施設に行くような話を聞いている」とポロツと言ったのが広まって。北区に児童施設ってうちし

かないので、たくさんの問い合わせが来たり、周りにもものすごい人だかりができちゃったり。我々もそんなことになっていると思っていなくて驚きました。

その日の午後に、マイケルとそのSPの人たち、お付きの人。あと、マイケルはお子さんを連れてきたんですよ。お子さんは覆面というか、その状態で世の中によく出てたんですね。



施設の子供たちはマイケルのことをあまりよく知らなくて。どれがマイケルで、それが男なのか女かもわからないような状態の子も結構いたから、SPにものすごいガタイのいいかっこいい方が多くて、そちらにみんな盛り上がっちゃった、ということもありました（笑）。

— . . .

<当日のマイケル>

(平) お土産持ってきてくれたんです。箱や袋におもちゃを詰めて。うちは歓迎のために、子供たちの琴と日舞のクラブ活動の発表を見てもらいました。

その合間にトイレに案内してます。「トイレどこですか」みたいな映像があったと思うんですけど(MTVでその模様が密着されて放送された)、案内したのは私です。マイケルがトイレから出てきたときに、琴を発表する子供たちが舞台袖で待ってた時の映像がMTVで流れました。

あれはだいぶカットされてるんですけど、結構やりとりがあったんですね。「日本人で誰か知ってる人いないか」という子供からの質問とか、いろいろやりとりしたけど全然通じないんですよ。子供なのでうまくコミュニケーション取れない中で、知ってる音楽の話になって、「スキヤキソング」(昔、アメリカのラジオで、「上を向いて歩こう」を流したのだが、そのラジオのパーソナリティが知っていた日本語が「すき焼き」しかなかったため、曲紹介をするときに、「スキヤキソング」と紹介してしまったため、アメリカでは「上を向いて歩こう」のことを「スキヤキソング」と言うようになった)の話をして一緒に歌ったんですけど、その「スキヤキソング」もあれ、「上を向いて歩こう」っていうタイトルじゃない。

— そうですね。

(平) 子供はそっちのタイトルは知っているけど「スキヤキソング」って名前は知らないなので、その説明をしているんです。で、歌ったと。正味30分ぐらいしかいなかったんで

すけど、その後もマスコミの取材がすごくて、「日本一有名な養護施設」になってしまうんです（笑）。毎日取材と、電話の問い合わせと、ファンが星美ホームに行きたいということで、見学を希望する電話とか、もう1か月ぐらい相当大変な状況が続いて、マイケルって本当にすごいんだなっていうのを実感したんです。ワイドショーの取材とかも毎日来ていて、「マイケルが使ったトイレです」とか「座った場所です」とか説明していたのが、次の週という感じでしたね。

<マイケルのお土産について>

—マイケルが持ってきたおもちゃで特徴的なものはありますか？

（平）ぬいぐるみかな？とってあるということはなく、子供たちに配って終わってしまったので、それはちょっと失敗したかな？（笑）

マイケルは、来た時にパイプ椅子に座ったんです。座った椅子にサインを貰えばよかったのに、と後から言われて。ファンは、サイン書いてもらったらその時マイケルが触ったマジックペンまで取っておくんですって。それに対して、我々なんにも…

—（笑）

（平）惜しいことしたなと思いました（笑）。まさか亡くなると思わなかったですから…。写真も動画も、もっと撮っておけばよかったなど。

<マイケルの印象>

（平）マイケル・ジャクソンは、思っていた以上に細くて背が高くて。でも近くで見ると、華麗なダンスしているあの雰囲気じゃなくて、相当お疲れなのかなっていう感じがしました。

—その頃はだいがメディアでバッシングされていたからかもしれませんね。

（平）そして、すごい匂いがしました。香水ですかね。あと、子供たちが紙切れにサインしてくれて持ってくるんです。でもそれにもサインしてくれたり、着ている洋服にサインしてくれたり。マイケルが目の子に対して一生懸命やってくれるという点が好印象でした。その当時、マイケルは児童虐待の疑いをかけられてバッシングされている時期だったんですけど、子供たちへの対応を見て、感じのいい人だな、というのが率直な感想でしたね。

—僕が星美ホームに行ったときに等身大パネルが置いてあったんですけど、マイケルがどこに座っていたのかなあと思っていました。

（平）サローネと言われてるホールの中に舞台があってそこに階段があったんです。その階段の中央に座っていたんですね。インタビュー形式で座って話をして、その後に、舞台上で集合写真をとって。舞台上しばらく居ましたね。



その「階段」と言われるその舞台の手前側にあった段を残しておこう話で、解体したんですけどその台だけ置いてあります。マイケルが座った場所ということで、新しく建てるそのホールに残していこうという話をしています。

—その時の集合写真は、今、残ってたりしますか？

(平) 残ってます。でもデータがないんですよ。(額装された写真を見せていただきながら) さっき言った舞台の階段ってこれなんですよ。この辺にマイケルが座ってて。

(このあとスキャンしたものをお送りいただきました※しかし、いろいろな人の顔が映っているため、自由研究に載せることはできません)

—マイケルはずっとサングラスかけたままでしたか？

(平) そうでしたね。真っ暗だからサングラスの奥の目は全然見えなかったし、年相応の感じだったし。でもね、踊りが始まるとすごい。我々はオフの状態のマイケルを見てたんですよ。

<MTV取材裏話>

—マイケルの、そのMTVの番組でカットされている部分のやりとりについて、覚えているものはありますか？

(平) 自分が接触したのは舞台袖の、出番を控えてる子供たちと出くわしたときの時間で、そのときに、結構子供たち失礼なこと言うんですよ。群がって、興味を示してほしいからちょっかい出したりとか。その辺はだいぶカットされてます(笑)

—テレビ裏でそんなことが!?

<新木場のイベントにて>

—星美ホームには何回マイケルは来たんですか？

(平) 1回だけなんです。ただ、次の年、2007年に40万のチケットでマイケルと直接会えるって企画があって、それに星美ホーム招待されたんです。マイケルのファンが集うパーティーみたいな感じ？ 高いチケットの人はマイケルと一対一でお話ができるんだけど、我々はライブハウスみたいな方に観客として招待されて、その様子を外から見てる感じだったんです。ただ、我々が来ていることはマイケル知ってたんで、来てくれたんです。その時並んで撮った写真もあります。



<マイケル来訪後について>

(平) 来たときもすごかったんですけど、来た後がものすごかったっていうのが印象深いですね。マイケルの認知度、知名度、影響力はここまですごいのかと。星美ホームは大きな敷地なんですけど、周りに人が群がっちゃって、近くを走っている路線バスが止まっちゃったり、次の日以降から取材がたくさんあったりということで、そこでマイケルの偉大さをあらためて感じたんですね。とにかく反響がすごかったんです。新聞に載ったり、取材があったり、問い合わせがあったり、ファンの方が急に来たり。

— そ、それはそれは……………。

<「女性の」マイケルさん??>

(平) うちカトリック施設で、キリスト教の施設なんです。施設長はシスターと言われ、ベールをかぶってる修道女なんですけど、おばあちゃんの園長先生だったんですね。世の中のことはあまり知らないんで、電話を受けた人から「マイケル・ジャクソンきますよ」っていわれて、「受けていいですね?」といわれた時に「どうぞ」といったんだけど、マイケル・ジャクソンが男性だと思ってなかったみたいで(笑)

— ええっ!?

(平) 我々に「マイケルさんくるから準備しておいてね」と軽くいうんです。「マイケルさんって誰?」って思うじゃないですか(笑)。「ああ、女性のマイケル・ジャクソンさんです」っていうから「その人女性じゃないですよ!」って話をしたんです。そのくらいマイケル・ジャクソンという人について無知だったので、偉大なスーパースターに対して、準備も不十分になってしまったし、そこが悔やまれますね。

— でもそういう対応がかえってよかったのかもしれないですね。

(平) 生きていたら、もう一回くらい来てくれたかもしれないですね。プロモーターさんが間に入っているんだと思うけど、2007年の時も「イベントあります」と招待してくださっているんで、星美ホームというものに対しての記憶があったということですね。

<平澤さんとマイケル>

(平) 私、52歳なんですけど、マイケル・ジャクソンのスリラーを発表したとき中学生だったんですよ。まだCDじゃなくて、

— レコード?

(平) そうそう、レコード。大きなLP盤ですごいカッコいいレコードだったんです。で

も、高くて買えなくて。近所の人が持ってたので、それをカセットに録って。中1くらいだったと思うんです、確か。40年くらい前かな？プロモーションビデオも見たことありませんよね？

—はい。

(平) カッコいいよね、マイケルのダンスもそうですし、ストーリーから、音楽も。高校生に入ってから、「BAD」が出て、日本に来日したんですよ。その時も東京ドームのチケットは手に入らず、行けなかったんですけど。

—平澤さんの好きなマイケルの曲ってありますか？

(平) 「ビート・イット」かな？好きな曲はいっぱいあるんだけど、一番初めに聞いた時の印象、インパクトがすごかった。中学生だったから「かけえ！」って思ってたんですよ。で、映像見たら「もっとかけえ！」って思って

— (笑)

(平) もう一つ、「ヒール・ザ・ワールド」ってあるじゃない？マイケルのファンに星美ホームを紹介する時にその曲を使ってスライドショーを作ったんだけど、作ってる最中に、何回も「この曲いい曲だな」て思うようになって。「ヒール・ザ・ワールド」は心にじーンと来ますね。

<インタビューを終えて>

すごく貴重なお話を聞かせていただきました！

平澤さん、ありがとうございました！！

ちなみに、好きな曲を質問されて、僕は「ヒューマン・ネイチャー」「2BAD」「ブラッド・オン・ザ・ダンス・フロア」の3曲をあげました。いい曲なので、ぜひみなさんも聞いてみてください。



鉄板焼き DANTE さん

お父さんがマイケルに料理を振る舞ったという、オーナーの息子さんにお話を聞きました。

日本担当のマネージャーが3回くらい下見にきたそうです（※マネージャーは各国で20人くらいいるらしい）。

そのマネージャーが、マイケルが定宿にしていたキャピトル東急に近いここでパーティーをしたいという。ほんとかな？と思いながら当日を迎えました。

マイケルは肉とガーリックが食べられないので、野菜焼き、肉の代わりにロブスター、ガーリック抜き野菜ピラフ、飲み物は、オレンジジュースかダイエットコークと言われていたので用意したのですが、その時で頼むものは変わると言われていて、当日はオレンジジュースになりました。

子供の体調が悪いということで、ご本人は1時間くらいで帰ってしまいました。1歳くらいの子供（当時の年齢から考えてプリンスくんと思われる）が具合悪くて、以降の予定をキャンセルしていたのですが、マイケルが予定を全部キャンセルしたと新聞で読んで、「まさか、うちの料理を食べて？…」と一瞬不安になりました（苦笑）。ツアーのために来たわけではなかった時期と思います。（来店は1998年7月25日）

アメリカではよくある、ジャグリングのような鉄板焼パフォーマンスはないのかと言われて、シェフが困って、フランベを何回もやったそうです。なぜフランベなのかというと、肉が食べられないマイケルが、別の席でフランベをやっているのを見て、「僕にはああいうのはないのかい？」と言ったからだそうです。

レジには「マイケル缶」（この缶は非売品で、貧しい人たちのためにつくったものだそうです。中身は非常食のパンだったそうです。）がペン立てとして置かれていました。

料理おいしかったです！ DANTE さん、ありがとうございました！



博品館トイパークさん

直筆サイン入りの写真を見せてもらいました！



博品館のスタッフさんから頂きました！（スタッフさんの私物）

1987年（初来日時）に1回来て、写真を撮ったそうです。

そして、1988年にもう1回来て、写真にサインをしてくれたそうです。（金と銀のサイン）

1987年には、カズの人形をプレゼントされていて、雑貨や大きいぬいぐるみなどを買っていったそうです。

また、博品館には、1987年、1988年、1990年代の3回来ていて、最後の90年代には、マイケルを一目見ようと、お客さんがいっぱい来て、SPさんの外側に立って、手をつないでマイケルを守ったそうです。

また、裏にある商品の搬入口に、帰るための車をつけていたのですが、マイケルが帰るときにはそれがバレていたそうです。だいたい数日前ぐらいに来訪の連絡が来たそうです。

<行ってみた感想>

実は、僕は、マイケル・ジャクソンの直筆サインを見るのは初めてで、その写真を見たときには、感動を通り越して、感慨深くなってしまいました。博品館トイパークさん、ありがとうございました！



6. メールでご返信をいただいたみなさま (五十音順)

キデイランドさん

※貴重な資料を見せていただきました。お預かりした社内資料から一部引用しています。

「昭和 62 年 9 月 11 日、あの、マイケル・ジャクソンが遂に来店されたのです。

原宿店は、その日午後 7 時半に閉店し、スーパースターの来店を待ちました。ところが、隠密行動のはずが、どこからニュースが洩れたのか、店頭は人の山。テレビカメラまでが待機しています。一度やって来たマイケル一行はやむなく帰ってしまいましたが、「どうしても」という彼の希望で、午後 9 時半頃再び来店されました。まだ残っていたファンの人並みをかきわけ、マイケルはまず 5 階へ直行しました。小屋社長から歓迎の花束を受け取った彼は、ケース入りの自分の人形に笑い、レーシングで遊び、仲間としゃべり、地下売場でサヨナラ記念撮影に応じて帰っていきました。」

～マイケル・ジャクソンが購入したもの～

ちえの輪(河田)

100 ドル札メモ(東洋スパッツ)

ボールペン ネオ 55(ウイックル)

ラジコンカー 57 年型シエビー(シンセイ工業)

ウインドバード(WARLON CO.LTD)など

セガ本社さん

「マイケル・ジャクソンさんがセガに来られてからはかなりの年数が経っていて、社屋の引っ越しや担当者の退職のため、当時のご紹介をすることができないことが分かりました。一部残っている写真等も、マイケル・ジャクソンさんの権利を管理している方々の許諾なしにはお見せしたり、ご提供をすることができない状況です。大変申し訳ございません。代わりになるかはわかりませんが、私どもでお調べした範囲で2点、ご紹介をさせていただきます。」

とのお返事をいただきました。

前出の鶴見六百さんのインタビュー

<https://news.denfamnicogamer.jp/interview/190625a>

そして、東京ジョイポリスにサインが残っている、ということをお教えいただきました！
ありがとうございました。

タワーレコード広報部 谷河 立朗さん

※来店当時の様子を教えてくださいました。

「来店されたときの思い出的な話になってしまいますが…

マイケルは画面で見る印象より、背が高く、エレベーターを降りてセキュリティに囲まれて廊下を歩いてきたときには、何やらものすごいオーラのようなものを感じました。世界的な大スターというのはこういうものなのだと感じました。

イベントが終わり、少しフロアを見たいとおっしゃって、急だったため、一般のお客様がいらっしゃる中へさっそうと入って行きました。お客様がマイケルに集まってきたら大変だなと思ったのですが、実際、お客様がマイケルだと認めると、さあーっと皆が道を開け、スタッフともどもマイケルがお買い物をする様子を見ていたというのも印象的でした。

ご本人は終始笑顔で優しい印象でしたが、これも大スターならではなのかなと思った次第です。

結果、イベントよりも長い時間をかけて、当時の映像ソフトのレーザーディスクを何十枚もご購入されていました。日本映画も多く含まれていたと記憶しています。」

東京コミュニケーションアート専門学校(東京スクール オブミュージック&ダンス専門学校)さん

※貴重な資料を見せていただきました。

「当時は今と学校名が異なり、「東京コミュニケーションアート専門学校」でした。

エピソードとしまして、名誉学校長：湯川れい子先生とのお繋がりから当時マイケルが本校に遊びに来てくれましたが、その時に、当時の在校生の合唱団が、湯川れい子先生の日本語詞にて「ヒール・ザ・ワールド」を歌い、大変感激され、お褒めの言葉をいただいたそうです。

それ以来、本校や国内の姉妹校でゴスペルアンサンブルの学びがさらに発展した経緯がございます。」

東京ジョイポリスさん

※来館当時の様子を教えてくださいました。写真のご提供もありがとうございます。

・1996年12月(初来館)

⇒セガ宛に急遽連絡があり、22:30頃お客様が多数残る館内に来館。

閉館時間後も深夜まで貸切対応となり、全アトラクションを体験、サイン入りTシャツ、皮ジャン、プログラムを寄贈。壁サイン第1号となる。
⇒貸切にも関わらず、熱心なファンがマイケルをジョイポリスの前でまっていた。マイケルは嫌がりもせず、笑顔で握手に応じていた。

・1998年(2度目の来館)

⇒貸し切りではない状態で来館したため、多くの一般のお客様もマイケル見たさにたくさんの方が入場。

多くのお客様が見る中、ジェットコースター(当時はレールチェイス・ザ・ライド)を利用。

※SPの方がいたので、混乱はなかったそうです。

◆マイケルが残っていた物に関して

・現在も残っているものは、当館出口前の壁にある直筆サインのみとなります。(サインを書いている様子の写真も併せて掲出してあります。

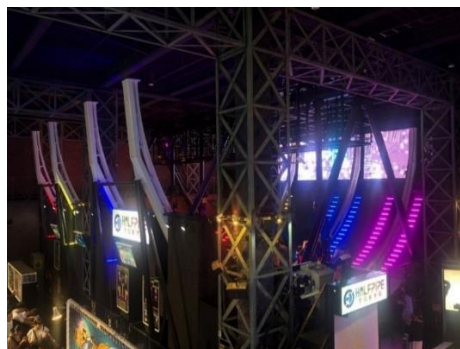


◆アトラクションに関して

- ・大変残念ながら、当時の姿で現在まで残っているアトラクションはございませんが、オープン当初から稼働していた「ハーフパイプ キャニオン」というアトラクションのリニューアル版「ハーフパイプ トーキョー」であれば現在も稼働中です。



ハーフパイプ キャニオン



ハーフパイプ トーキョー

⇒演出や構造こそ当時と異なりますが、基本的には同じアトラクションとなります。
1996年の来館時に「全アトラクションを体験された」と記録が残っておりますので、恐らくこちらでも体験されたことかと存じます。

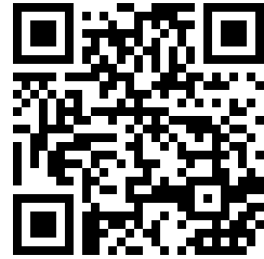
ハイアットリージェンシー福岡（現在 THE BASICS FUKUOKA）さん

「確かにマイケルさんはハイアットリージェンシー福岡(現 THE BASICS FUKUOKA)のスイートルームに宿泊されたと聞いております。ただ、残念ながら現在ハイアットとの契約はなく、写真や残っていたものなどは、こちらにはございません。

しかしながら、部屋の内装は変わってしまいましたが、建物の外観や大まかな部屋のレイアウトはハイアットリージェンシー時代のままです。

マイケルが宿泊したとされるスイートルームも、内装や家具は変わっていますが部屋の広さ・レイアウトは変わっておりません。」

<https://www.thebasics.jp/fukuoka/rooms/story-twin/>



7. マイケルが行った場所に行ってみた

※五十音順

①キデイランド



マイケル・ジャクソンは、1987年9月11日に来店し、僕は、2022年8月19日に来ました。ちなみに、僕のゆかりの地でもあります（「星星ダンス」で検索すると出てきます。キデイランドに、その動画が流れていました）。

②銀座四丁目（銀座和光前）



マイケル・ジャクソンは1987年9月28日に撮影し、僕は、2022年8月11日に撮りました。

③ザ・キャピトルホテル東急



マイケル・ジャクソンが初めてこのホテルに泊まったのは、1987年9月9日です。10階のインペリアル・スイートに泊まったマイケル。この最上階の部屋は改めて、「マイケル・ジャクソン・スイート」と名付けられました。また、この写真は2022年8月15日に撮りました。

④鉄板焼き DANTE



マイケル・ジャクソンは、1998年7月25日に来店しました。
僕は、2022年8月15日に行きました。

ありがたいことに、マイケル・ジャクソンが来店した時に出したメニューを出してくれました！

そして、マイケルが座った席に案内してくれて、そこに座らせてもらいました！



～マイケル・ジャクソンが食べたメニュー～

- ・野菜焼き
- ・ロブスター
- ・ガーリック抜き野菜入りガーリックピラフ
- ・オレンジジュース

タレは大根おろしとバーベキューソース（醤油ベース）

野菜焼きは、サラダ油で焼いた後にバター、塩胡椒

ほうれん草はその後に白ワインで焼いていました

玉ねぎ、ピーマン、にんじんのピラフ、醤油味（ガーリック抜き野菜ピラフ）

ロブスターはブランデーでフランベをしていました

梅肉入りのスープと、デザートにはサービスで、バニラアイスを出してもらいました！

<食べた感想>

野菜焼きは、塩と胡椒で味付けをしているだけなのに、すごく美味しかったです！

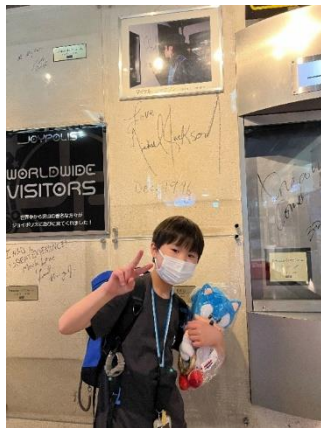
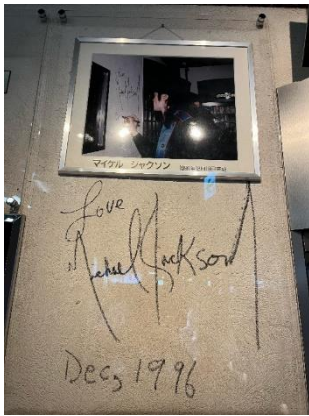
【おまけ】

コース料理として、「マイケルコース」もつくってほしいですね。

⑤ 東京ジョイポリス

マイケル・ジャクソンは、1996年12月19日と、1998年7月28日に、東京ジョイポリスに来ています。

マイケルは、ハーフパイプキャニオンというアトラクションを含めた全てのアトラクションを体験しました。ぼくは、ハーフパイプキャニオンのリニューアル版であるハーフパイプトキョーに乗りました。とっても怖かったです。



←新聞に載っていたマイケルの真似

⑥タワーレコード渋谷店さん



2022年6月撮影

僕が行ったこの日は、マイケルの命日で、献花のイベントがありました。毎年6月25日前後にこのイベントはやっています。

8. マイケル・ジャクソンが食べたものを 食べてみた

- ・「らくらく」の酢鶏&肉無し炒飯



<食べた感想>

酢鶏・・・肉が豚ではなく鶏のおかげか、とてもさっぱりしていて美味しかったです。
肉無し炒飯（僕が食べたのは肉ありです）・・・とてもお米がパラパラで、炒飯の中になるとが入っていて、おいしかったです！

・豆源

<食べた感想>

マイケルがどの豆を食べたかはわかりませんが、おそらくこの豆（最後の写真の「おとぼけ豆」）を食べたのだと思います。香ばしくて美味しかったです！



・二十世紀梨

※盛田昭夫さんの奥様の手記

<http://www.akiomorita.net/contents/episode/index.html>





ソニーの盛田さんの家でこの二十世紀梨を食べたそうです

<食べた感想>

シャリシャリしていて、甘くておいしかったです！

9. マイケル・ジャクソンが食べたものを作ってみた

・豆腐ハンバーグ

2020年10月4日にTBS系列で放送された「ロストグルメ2」の中で紹介されました。1987年の来日でマイケルのシェフを務めていた高谷さんが当時のレシピを紹介していました。

レシピはこちら

https://hicbc.com/tv/lost_gourmet2/



材料 (2~3人分)

パテの材料

・玉ねぎ	50g (1/4個)
・茹で大豆	150g
・木綿豆腐	180g (1丁) →しっかり水を切っておく
・大和芋	20g →レンジで温めておく
・卵黄	1個
・パン粉	30g
・赤味噌	大さじ1と1/2
・酒	大さじ1
・砂糖	大さじ1/2

ソースの材料

・しめじ	50g
・マイタケ	50g
・希釈しただし汁	100CC
・醤油	大さじ1
・酒	大さじ1
・砂糖	大さじ1/2
・水溶き片栗粉	大さじ1

つけ合わせ (お好みで) … にんじん、ほうれん草、大根おろし

作り方

- ①茹で大豆をすり鉢で荒く潰す
- ②みじん切りにした玉ねぎと①を炒める
- ③炒めた②に水切りした豆腐、大和イモ、パン粉、赤味噌、調味料を混ぜる。
※大和イモは潰しながら混ぜることで食感を残す
- ④パテをハンバーグ型に成形しフライパンで焼く

<ソースの作り方>

- ①マイタケとしめじをだし汁で煮込む
 - ②調味料を加える
 - ③水溶き片栗粉でとろみを付ける
- ハンバーグにソースをかけたら完成!



<食べた感想>

おいしい！豆の主張が激しくて、香ばしい!!

10. マイケル・ジャクソンについてもっと知りたくなったら

(五十音順)

JACKSON ユーコ・スミダ・ジャクソン 著

この本は、デンジャラスツアーの際に、マイケル・ジャクソンと踊った日本人ダンサーの、ユーコ・スミダ・ジャクソンさんが書いた本で、この本の最後には、振付師のトラヴィス・ペインさんとの対談が入っています。



【参考】THRILLED BY THE KING ユーコ・スミダ・ジャクソンさん編
(TEMPA さんによる、ユーコ・スミダ・ジャクソンさんへのインタビュー動画。)

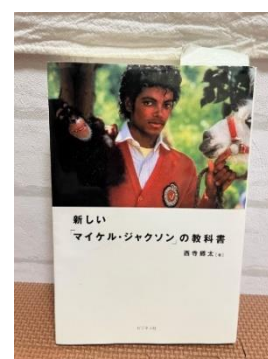
<https://youtu.be/cwNB7SFUmcs>



新しい「マイケル・ジャクソン」の教科書

西寺 郷太 著

この本は、ノーナリーブスのボーカルで、マイケル・ジャクソンのことを研究している人の一人である、西寺郷太さんが書いた本で、マイケルは、どのような人なのかが良くわかる本です。



ステージ・オブ・マイケル・ジャクソン

西寺 郷太 監修

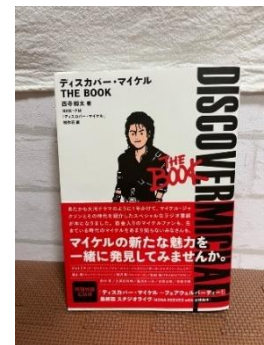
この本は、マイケルの写真集で、以前、西寺郷太さん監修の写真展が行われたときに売っていた本です。



ディスカバー・マイケル THE BOOK

西寺 郷太 著

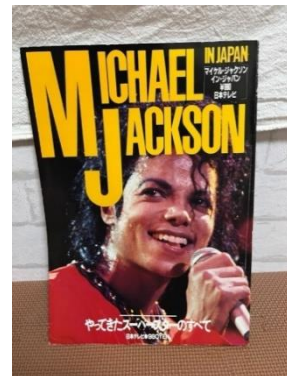
この本は、西寺郷太さんのラジオ番組「ディスカバー・マイケル」の内容を収録した本です。西寺郷太さんとマイケルにゆかりのある人（、もしくは、マイケルのことが好きな人、マイケル研究者）たちが話していることをそのまま本にしたものなので、マイケルに関する豆知識がたくさん入っています。



マイケル・ジャクソン イン・ジャパン

日本テレビ

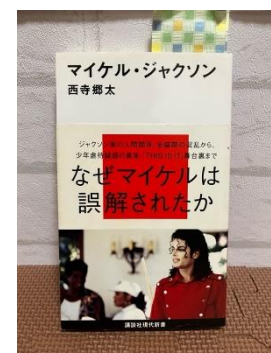
この本は、マイケルが初来日し、ライブをした時の写真集です。また、湯川れい子さんと、吉岡正晴さんの対談も入っています。



マイケル・ジャクソン

西寺 郷太 著

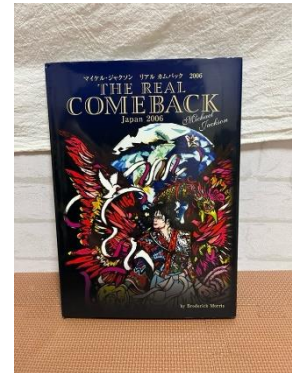
この本では、西寺郷太さんが、どうしてマイケルが誤解されるようになったのかを深く書いた本です。それだけではなく、マイケルの本当の姿にも触れている本です。



マイケル・ジャクソン リアル・カムバック

2006 ブロデリック・モーリス 著

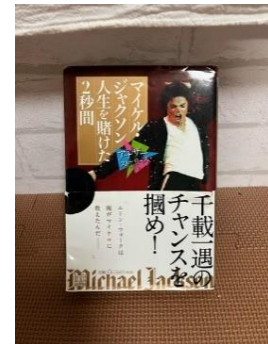
この本は、2006年にマイケルが来日したときのプロモーターさんが、マイケルが来日したときの出来事を詳細に書いた本です（日付入りで！）。



マイケル・ジャクソン 人生を賭けた2秒間

アナザーストーリーズ

テレビ番組「アナザーストーリーズ」で、マイケルの話が放送されました。この本は、それがそのまま本になったものです。



マイケル・ジャクソン全記録 1958-2009

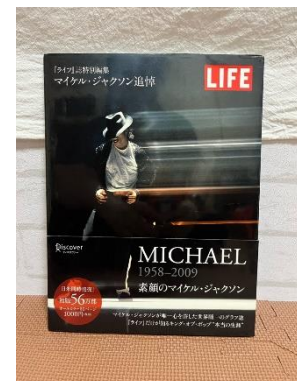
エイドリアン・グラント

この本は、マイケル・ジャクソン公認「オフ・ザ・ウォール」誌の編集長であるエイドリアン・グラントが、何年何月何日にマイケルが何をしたのかを詳細に書いたものです。また、吉岡正晴さんが翻訳と監修をしています(前に会ったときにサインをしてもらいました！)。



マイケル・ジャクソン追悼 LIFE

この（雑誌？）本は、マイケルが亡くなった後に発売された、マイケルの本当の姿が書かれている本です。また、写真も多く載っていて、「ジャクソン5」時代から、「マイケル・ジャクソン」時代まで幅広くなっています。



マイケル・ジャクソンの思想

安富 歩 著

この本は、マイケルがどのようなことを思って曲を書いたのか、安富さんの体験を混ぜながら書かれた本です。「ビリー・ジーン」はどんな歌なのか、「スリラー」、「スミーズ・クリミナル」はどんな意味なのか詰まっています。



マイケル・ジャクソンの思い出

坂崎 ニーナ 眞由美 著

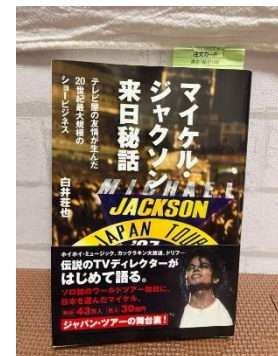
この本は、1987年に、この本の筆者である坂崎ニーナ眞由美さんが、マイケルとやった仕事と、そこで起きたたくさんの物事を書いた本です。



マイケル・ジャクソン来日秘話

白井 壮也 著

この本は、マイケル・ジャクソンが、バッド・ワールド・ツアーで来日したときの話が書かれています。どのようにしてマイケルが来日したのか、日本テレビのディレクターさんが書いた本です。



マンガ世界の偉人

「マイケル・ジャクソン」

この本は、マイケル・ジャクソンがどんなことをした人なのかを書いている本です。マイケル・ジャクソンのことが全然わからない人におすすめ！

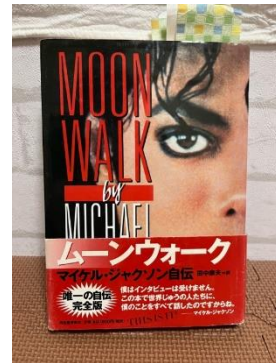


ムーンウォーク マイケル・ジャクソン 著

この本は、

マイケル・ジャクソンの自伝です！

マイケルが自分で書いているので、信用度は、
100000000%です!!!!!!



11. 6年間の研究から見てきたマイケル・ジャクソンの人物像

<「マイケル・ジャクソン」とは>

超一流のダンサーであり、超一流の歌手であり、超一流のアイデアマンであり、画家であり、慈善家であり、スーパースターであるマイケル。それと同時にマイケルは、(特別繊細な)人間であるということを忘れられてしまった人でもあります。しかし、マイケルが残した音楽や、その考え方は、今でも残っています。そこで、僕たちは、その意思を引き継いで、マイケルの思いを世界に伝えていくべきだと思います。

12. 僕にとってのマイケル・ジャクソンとは

僕にとって、マイケルとは、

- ①憧れの存在
- ②「マイケル好き」という、一つの世界を作ってくれ、僕に、学校以外の人とのつながりを与えてくれた人
- ③「we are the world」という歌があったが、まさに、僕らは世界だということを、強く示してくれる人
- ④「ダンス」という、一つのスキルを獲得するきっかけを与えてくれた人

です！

13. マイケルが歌っている良い曲

※五十音順

<かっこいい曲>

- ① 2BAD ②BAD ③JAM ④アナザー・パート・オブ・ミー
- ⑤ エスケープ ⑥カム・トゥギャザー ⑦ゴースト
- ⑧今夜はドント・ストップ
- ⑨今夜はビート・イット
- ⑩ザ・ウェイ・ユー・メイク・ミー・フィール
- ⑪スクリーム ⑫スタート・サムシング
- ⑬スピード・デーモン ⑭スムーズ・クリミナル
- ⑮スリラー ⑯セイ・セイ・セイ
- ⑰ゼイ・ドント・ケア・アバウト・アス
- ⑱ダーティ・ダイアナ ⑲タブロイド・ジャンキー
- ⑳ディス・イズ・イット ㉑デンジャラス
- ㉒ビハインド・ザ・マスク ㉓ビリー・ジーン
- ㉔ブラック・オア・ホワイト
- ㉕ブラッド・ダンス・オン・ザ・フロア
- ㉖ユー・ロック・マイ・ワールド
- ㉗リーヴ・ミー・アローン ㉘リメンバー・ザ・タイム

また、これらのビデオのほとんどは、ソニーショップの通販で発売しています（マイケル・ジャクソンの「VISION」には、これ以外にもかっこいいビデオがたくさんあり、これも、ソニーショップで買うことができます）。また、マイケルの VEVO 公式 YouTube でもそのショート・フィルムは見るができると思います。

<優しい曲>

- ① アース・ソング
- ② ウィー・アー・ザ・ワールド
- ③ クライ
- ④ スマイル
- ⑤ ヒール・ザ・ワールド
- ⑥ ヒューマン・ネイチャー
- ⑦ ユー・アー・ノット・アローン

14. これを見ればマイケルのかっこよさがわかる！マイケルの曲ベスト5！

- 1位 スリラー (Thriller)
- 2位 バッド (BAD)
- 2位 スムーズ・クリミナル (Smooth criminal)
- 2位 ビリー・ジーン (Billie Jean)
- 2位 今夜はビート・イット (Beat it)

15. 後書き

僕のこの6年間の集大成は、どうでしたでしょうか？

マイケルについて、わかりましたか？この本を読んでいる方にはこのようなことを思っている方は少ないでしょうけども、マイケルが生前散々バッシングされてきた、「少年虐待疑惑」や、その他の中傷的なニュースは、どれも本当のことではないのです。この本からもそれがうかがえると思います。

<少し謝罪…>

この本はこれまでのものと違い、50ページ以上もある（これまでのものは、だいたい20ページであり、これまでより30ページ以上多い）ので、少し長かったかもしれませんが（もともと、マイケル好きには少し足りないかもしれませんが）。

<最後に…>

マイケル・ジャクソンは、日本好きのイメージがありましたが、実際はどうなのだろうと思っていたところ、MTVの来日密着映像の中で「日本が大好きだ」と言っている場面があり、本当に日本が好きだったことがわかりました。

16. 参考文献

マイケル・ジャクソン VISION

マイケル・ジャクソン全記録 1958-2009

マイケル・ジャクソン来日秘話

マイケル・ジャクソンの思い出

マイケル・ジャクソン リアル・カムバック 2006

1987, 1988, 1992, 1996 ツアーパンフレット

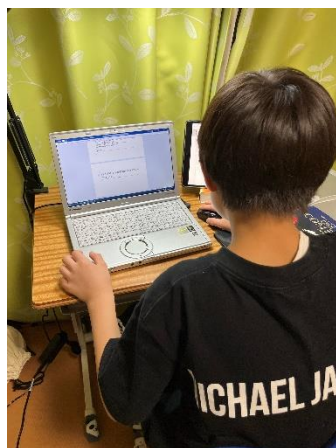
17. この自由研究ができるまで

この自由研究は、

パソコンを使って作りました！

こんな感じで作ってます！

みなさんもぜひこんな風にやってみてください！



18. 著者近影

全然関係ない（マイケルは魔法が好きだから、関係なくもない？）のですが、「ハリー・ポッターと呪いの子」の舞台を見に行きました！すべてが不思議で、面白かったです！

今年の夏は、マイケルに関するイベントにたくさん参加しました！
すっっっっっっっっっっっっっっっごう楽しかったです!!!!!!

この自由研究のために、マイケルに関する本を母に新しく10冊も買ってもらいました。本当に感謝しています！



この自由研究に関わった人

母、父、自分、弟(?)

SPECIAL THANKS

博品館さん 星美ホーム平澤さん 鶴見六百さん キデイランドさん
東京ジョイポリスさん THE BASICS FUKUOKAさん タワーレコードさん
大阪市役所さん 東京ドームさん 椿山荘さん セガさん
ザ・キャピトルホテル東急さん 千代田区立教育委員会さん
東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校さん
ニューオータニ大阪さん 湘南経済新聞さん 西武百貨店池袋本店さん
報知新聞さん 鉄板焼き DANTEさん ハウステンボスさん
広東酒家らくらくさん 麻布豆源さん ご協力いただいたすべての皆様

ありがとうございました!!

それでは、また会う日まで。さようなら！

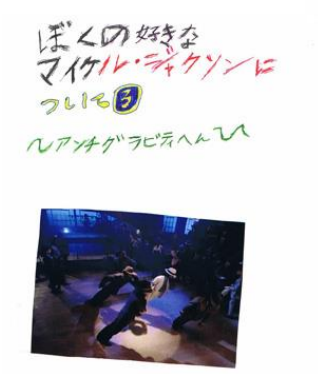
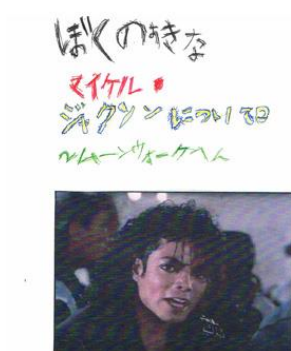
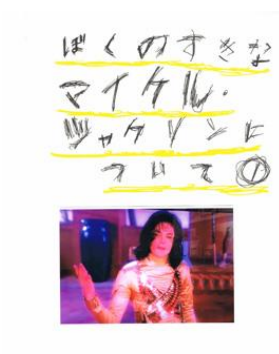
19. 今までの自由研究

1～5年生までの自由研究はこちら

(今年は、紙版とネット版で内容が違います！)



<http://jiyuukenkyu.work/>



20. *リンク

Michael Jackson VEVO 公式 YouTube

<https://www.youtube.com/user/michaeljacksonVEVO>



マイケル・ジャクソン オフィシャルサイト (英語)

<https://www.michaeljackson.com/>



THRILLED BY THE KING 【MJ ドキュメンタリー】

<https://www.youtube.com/channel/>

[UCDmb6FpAABza6bYrz9z77zA](https://www.youtube.com/channel/UCDmb6FpAABza6bYrz9z77zA)



湘南経済新聞 (音羽ノ森の写真いり記事)

<https://shonan.keizai.biz/headline/805/>

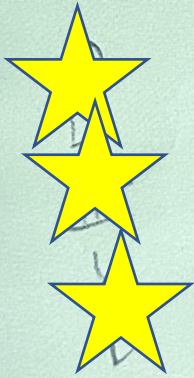


発行年 2022年9月1日

題名 僕の好きなマイケル・ジャクソンについて

⑥マイケル・ジャクソンと日本

マイケル・ジャクソンになりたい。





僕は今年、マイケル・ジャクソンになった





THANKS TO MICHAEL JACKSON

21. 「僕の好きなマイケル・ジャクソンについて」編集アシスタントより

読者のみなさま、こんにちは。「僕の好きなマイケル・ジャクソンについて」の編集アシスタントです。

本件に携わって6年になりますが、著者のお世話を担当するようになってからは、もう12年近くになります。早いものですね。

著者は人生の半分(!)を、このマイケル・ジャクソンについての自由研究に費やしてきたのですが、そもそも、なぜこんなことになったのか、の部分からお話していただけます。

著者について、よく質問を受けるのは「ご両親の影響でマイケルのことを？」というものです。これについて、半分はYES、半分はNOです。

著者の父親がマイケルファンではありましたが、かなり後年になって友人の影響でファンになったという経緯があったそうです。すごく詳しい、というわけでもありません（おそらく）。

※今回、そのご友人の方にも大変ご協力いただきました。ありがとうございました。

母親に関しては、マイケルについて一般的な興味と知識しか持ち合わせていなかったようですが、ダンスを長いことやっていたため、著者のダンススキルに関しては、母親の影響が多少なりあったかもしれません。

ちなみに、著者の両親が二人で初めて観に行った映画が「THIS IS IT」だったそうです。

幼少の頃の著者は、音に合わせて動くのがとても好きな赤ちゃんで、まだ歩けない、ハイハイしかしないような時期に、なぜかダンスのオーディションに合格したことがありました。当時のマネージャーさんと「なんででしょうねえ」と不思議がったのを覚えています。

そして、Eテレの番組を見ては毎日踊っているような子供に育ちました。

2歳くらいだったでしょうか、「そんなにダンスが好きなら！」と、著者の父がマイケル・

ジャクソンのDVD（バッド）をかけたところ、大ハマリ。毎日「あお！」「ぱお！」と奇声を発する幼児が爆誕します。

同じ保育園出身のみなさんの中には、その頃のことを覚えている方もいるのではないのでしょうか。

毎日どこから「ぴれーぴれー」と歌いながら近づいてくる幼児。軽くホラーです。

※ちなみにこの保育園、なぜか2年にひとりマイケル・ジャクソン好きの幼児が出てくるという不思議な現象がありました。著者在園時も2つ上にいたそうで、2つ下にもいました。その2つ下は筆者の弟、そのさらに2つ下は、筆者の2つ下の子の弟くんでした。著者の2個下の彼はその後ダンス教室でしばらく一緒したのですが、今もまだマイケルのことを好きでいてくれるのでしょうか。

並行してEXILEが好きだった時期もあり、「そんなにダンスが好きなら！（2回目）」と、中目黒の某スタジオに体験で放り込みますが、当時3歳0ヶ月、参加資格の下限ギリギリだったため、ついていけず、怖い先生を前に呆然とし、言葉と感情を失って帰ってきたのです。

「やっぱり、まいけりゅじゃくちゃんのだんちゅちかやりたくない」
中目黒駅まで歩く道すがら、そのように舌つ足らずなセリフを吐いた著者。
【マイケル・ジャクソン ダンス】で検索すると、あるんですね。
体験行ってみる？と聞くと
「いっかいみてからじゃないと、きめられないからねー」

おい、3歳、すごい上からだな。

そうこうしているあいだに、ダンサーのケントモリさんのワークショップの案内を見つけました。【マイケルとマドンナが取り合ったダンサー、ケントモリ】です。

「1歳から100歳まで」と書いてあるのを鵜呑みにして問い合わせをします。
実際には4歳、最年少だったので、保護者も参加を求められますが、次男の産後まもなく著者の母親、参加することができず、ひどい場所見知りですぐスタジオから出てきてしまう著者に、ラムネを餌付けしてはスタジオに戻すという行為を繰り返し、なんとか最後までもたすことに成功したのです。

マイケル熱高まった著者4歳、「まいけりゅじゃくちゃんのだんちゅ、ならいたい」。

おお、そうか、ワークショップではなくパーマネントでということだな、ということで以前調べた教室に連絡し、入会、現在に至ります。その当時、レッスンに同伴していた著者の弟、当時0歳が、いま7歳です。時の流れは早い。

ケントさんのワークショップはその後定期的に行われ、参加するたびにスタッフさんに「おおきくなったね」「スタジオにずっといられるようになったね」と、とても低いハードルの成長ですら褒めていただき、それが本人の自信になったのかもしれないですね。

とてもシャイな著者は、ケントさんやダンスの上手いお兄さんたちに、ワークショップが終わったあとの時間で一緒に踊ろう！と誘われても頑なに拒否するような幼児だったのですが（なんてもったいない！そして著者の弟が今とてもそっくり！）そのときのお兄さんの一人に、後年ダンスを習うこととなります。昔のワークショップの集合写真を見たら、のちに知り合うメンバーがみんな写っていました。これもマイケルが結んだ縁なのかもしれませんね。

そして小学校1年生。初めての夏休み。自由研究は何にする？と聞くと「マイケル・ジャクソン」と答えるのです。

マイケルの？何を？え、調べ学習なの？文字を？書くの？？？

著者は極端に書き取りを苦手としていて（今もです）、1年生のひらがなで挫折した男…。その彼が、書き物の自由研究は難しいのではないかと思いました。それでも著者のマイケルへの情熱は揺らがないのです。

困った

なし崩し的に著者のアシスタントになった私は考えました。

「そうだ、フリクションで下書きをして、それをなぞらせよう」

口述筆記から原稿をまとめ、それをフリクションペンで書いていきます。著者はそれをペンでなぞり、出来上がったところで、ドライヤーをかけてフリクションを消します。

これは漫画家さんか誰かが言っていた下書きのやり方だったのですが。

ですので、初年度の自由研究の筆跡は、ほぼアシスタントのものに近くなっています。

初年度から、6年間統一テーマ、というコンセプトは、著者の中に出来上がっていました。1冊目のタイトルに「①」とついているのはそのせいです。

翌年以降は自分でフリクションの下書きをし、自分でドライヤーをかけてくれるようになりました。だいが楽になったので、アシスタント業務としては、主にリサーチを担当するようになります。

今もそうなのですが、子どもの触る端末には制限があり、自由に検索が難しい状態です。また、検索結果の精査も本人には難しいでしょう。そこで、リサーチは大人が行い、その結果から本人が組み立てていくというスタイルになりました。

4年生からはパソコンを導入しています。これはコロナの影響でタイピング練習を必須とされていたのもあります。1学期からずっとお休みのようなものだったので、早くから自由研究に着手できた年でした。

同じ頃、「俺、マイケル・ジャクソンの自由研究で『博士ちゃん』出れるんじゃないか」とテレビを見ながら著者が言った話を聞きつけた(?)番組スタッフの方から連絡をいただき、紆余曲折ありましたが、番組でご紹介いただくことになりました。

これが彼にとってもターニングポイントだったのではないかと思います。

ある意味注目されてしまったので、翌年以降頑張らなきゃ、ということと、そのとき4年生だったので、ゴールになるであろう6年生に向けてどう持っていか。どう締めるかを考え始めたのではないかと思います。(2.調べようと思った理由 参照)

去年は地図作成がえらい大変だった記憶がありますが、今年は調査や取材アポの部分で、子どもだけでは難しい部分を手伝わさせていただきました。

バックに大人がいるということで安心して引き受けてくださった企業様も、子どもだからこその部分で引き受けてくださった方もいらしたかと思います。

『子ども特権』が使えるのも今年までだよ、と本人には言ったのですが、子どもだから、若いからこそ周りが手を差し伸べてくれる、そのありがたみって、過ぎてみないと気づかなかったりしますよね(指摘されても、なんか反抗期とかで気づかないこともあります)。

今年いっぱいはその恩恵に預かり、思いっきり『子どもカード』を切りなさい、と伝えました。

著者はわりとぼんやりしている男子なので、どこまで理解しているかは、さだかではありませんが。(まず人の話を人並みにちゃんと聞くとこからはじめて欲しい気持ちはあります)

著者のことを、学校で知って応援してくださっている方、他のところで知って応援してく

ださっている方、いろんな方が今これを読んでいるかもしれませんが、好きなことにどっぷりはまれるの、いいですね。『好きが講じて』のようなものはすべての原動力だと思います。

来年以降、自由研究がない学校に行ったらもう作らないのかもしれないし、自主的に作り続けてしまうのかはわかりませんが、このドメインは契約をずっと継続するつもりでいますので、ふと思い出したら読みに来てください。そして著者がおとなになったとき、どうなっているのか、いつかこれを読んでいるみなさまと、答え合わせができれば楽しいなと思います。

短冊に書いた『マイケル・ジャクソンになりたい』の願いが、本当に叶うといいですね…。(親はとてつもなく大変そうな予感しかありませんが)

2022.8.31 編集アシスタント 拝